

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	日本精工株式会社	事業所名	埼玉工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	グリーン認証の加入確認と推奨			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握	NLKのシステムで排出量を把握、業務本部へ報告			○	○	○
()							
04	積載率の向上	混載して積載率を向上させている。			○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上						
04	積載率の向上	緩衝材はエアークッションの入ったものを使用して軽量化に努めている。			○	○	○
(02)	梱包資材の軽量化・小型化の実施						
04	積載率の向上	容量・重量に応じて、車両の選定を行っている。			○	○	○
(03)	輸送量に応じた適正車種での発注						
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施	混載して積載率を向上させている。			○	○	○
(01)	混載便利用の取組						

自動車地球温暖化対策実施方針

05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組	送り先・方面が同じ荷物は混載して立ち寄り運行をしている。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	同意書の提出によるアイドリングストップを要請	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	客先ごとの納品時間・ポートに使用時間のルール有り。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	営業と調整して、納期をまとめて輸送を行う。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	前倒し運行し、時間調整を行い対応している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	ミルクラン方式で有る程度の時間を指定して運行し、待ち時間を削減している。	○	○	○
08 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	NLKにおいて、効率輸送・コストダウンを行っている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	関東圏・関西圏その他、物流拠点を置き、活用している。	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	複数回の納品日をまとめ、回数を減らしている。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	車両へのGPSの位置から輸送状況を共有している。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	業者との合同会議にて注意喚起を行うとともにアイドリングストップを推進している。	○	○	○
11 その他の必要な取組 (01)	社有車を低燃費車へ変更した。	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	日本精工株式会社	事業所名	埼玉工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01 マイカー通勤に係る重点目標の設定 ()	1. 5Km未満は車両乗り入れを禁止している。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

03 自転車への転換の推進	駐輪場を守衛所付近へ集約させ、駐輪スペースを拡張する。	○	○	○
(02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理				
04 時差通勤の実施	交替勤務実施	○	○	○
()				
07 エコドライブの推進	社内ニュースによるエコドライブ推進	○	○	○
(01) エコドライブの啓発				